

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和7年9月30日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 「ゲートキーパー養成講座」「ラジオ体操講習会」の案内(健康医療課)

② 令和7年度認知症研修会（医療・介護従事者向け9/5）の報告(まんさく)

③ 認知症市民研修会(9/6)の報告(高齢者支援課)

④ 第4回「在宅看取りを考える会」(9/24)の報告

4 協議事項

1) 情報連携ツールについて

次回開催日

令和7年10月28日（火）

視点

認知症について —地域の取り組みとその課題—

岡山県医師会理事 太田 隆 正

認知症とは、一度正常に発達した大脳機能が後天的な脳の障害によって持続的に低下して、日常生活や社会生活に支障をきたす状態を言う。原因は、遺伝や特殊タンパクの存在が言われているが、まだ十分な解明はなされていない。今や認知症は誰でもが関わる可能性のある身近な病気となっている。認知症患者は、1950年には高齢者の15%であり、2025年(今年)には約700万人の患者発生が推測されたが、実際は500万人弱にとどまっている。しかし、軽度認知障害(MCI)が増加している現状もある。

国は、2015年1月に、新たに「認知症施策推進総合戦略—認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて—」(新オレンジプラン)を各関係府省庁と共同で策定した。このプランに基づき各地で取り組みが行われている。新見地区の実情を紹介し、認知症の課題についても検討をしていく。

* 9月は認知症月間

1994年、国際アルツハイマー病協会(ADI)と世界保健機関(WHO)は共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定した。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っている。それに合わせて日本では、2024年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、9月を「認知症月間」と定め、認知症についての関心と理解を深める行事が、全国各地で行われている。

* 「認知症施策推進総合戦略—認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて—」(新オレンジプラン)の具体的な施策

国は、2015年1月に団塊の世代が75歳になる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「認知症施策推進総合戦略—認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて—」(新オレンジプラン)を各関係府省庁と共同で策定された。

①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進 ②認知症の様態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供 ③若年性認知症施策の強化 ④認知症の人の介護者への支援 ⑤認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくりの推進 ⑥研究開発等 ⑦認知症の人や家族の視点の重視—の7つの柱に沿った施策を総合的に各地域で推進していく計画である。

具体的な施策には、認知症疾患医療センターの整備がある。地域のすでに認知症診療の核となっている病院がセンターとなり、認知症の鑑別診断や、行動・心理症状(BPSD)と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、関係機関との連携、研修会の開催等の役割を担う核となる組織である。

「認知症サポート医」は、地域かかりつけ医が認知症診断等に関する相談役等の役割を担う医師であり、岡山県では276名(2025年3月現在)の登録がある。一般の方の認知症支援には「認知症サポーター」である。市町村や職場などで実施されている「認知症サポーター養成講座」を

受講すれば、だれでもなれるシステムである。

認知症初期集中支援チームは、各市町村への設置を推進し、医療・介護の専門職が家族の相談等により認知症を疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、必要な医療・介護の導入・調整や、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームである。

*** 認知症への新見市の取り組み**

新見市には精神科病院はなく、以前より高梁市のさきがけホスピタル（旧高梁病院）と新見市内のサテライト診療所に対応、認知症関連診療をお願いしていた。2013年さきがけホスピタルが岡山県認知症疾患医療センター（以下センター）の1つに指定され高梁・新見圏域で認知症関連の業務を行っている。2024年（昨年）高梁本院と新見サテライト診療所合わせて273名の初診患者の受診があった。高梁本院では86名の入院治療を行った。また、主に精神保健福祉士が受診前相談や診断後支援を電話や面接で実施、1,138件の実績があった。最近増加傾向のMCI患者は、さきがけホスピタル以外にも岡山・倉敷の専門病院物忘れ外来に受診している。

センターの業務として「高梁・新見地区認知症疾患医療センター地域連携会議」を高梁、新見それぞれに設置、事務局はさきがけホスピタルにおき、年1回開催している。

新見医師会は、2012年新見医師会内に在宅連携拠点「まんさく」を開設、新見市と連携地域包括ケアシステム事業を進めてきたが、認知症事業においても、2013年厚生労働省老健局認知症モデル事業「認知症初期集中支援チーム」を開始、現在も新見市がさきがけホスピタルの協力もいただき事業継続している。

新見医師会のサポート医5名、認知症サポーター講習は毎年行っており6,585名（2024年現在）が講習を受けている。認知症事業は主に新見市主導で研修会、住民講演会等定期的に開催、新オレンジプランにある「認知症ケアパス」も作成している。

*** 認知症の課題**

認知症患者の2025年推定値よりの減少は、生活習慣病の予防・治療があると推定されている。しかし、MCI患者は微増があり、早期診断・治療が重要となってくる。もちろん今後の生活習慣病の予防・治療も必要である。

「認知症サポート医」「認知症サポーター」の活用が不十分である。特に「認知症サポーター」は認知症カフェなど交流の場を作っていく必要がある。

本年8月新見で一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ相談役理事藤田和子氏の講演を拝聴した。先生の活動内容、認知症と生きる希望宣言を話された。2024年12月策定された「認知症施策推進基本法」で、「認知症になったら何もできないのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという新しい考え方」で施策を推進するとしている。

*** おわりに**

認知症は、生活習慣病の予防・治療で防ぐ可能性がある。また、早期発見すれば対応もできる疾患となってきた。

認知症患者対応に対してもう一度再考して、今後の診療に当たっていきたい。

いつでも だれでも どこでも 気軽にできる健康法

ラジオ体操講習会

参加費
無料
定員:200名
※定員になり次第
締め切ります。



イメージキャラクター
ラタ坊

日時 令和7年

11月9日(日)

午前9:30～

9:00より受付開始
11:30講習会終了予定

会場 **新見市憩いとふれあいの公園**
多目的広場 (新見市正田330)
(雨天時:屋内ゲートボール場)



実技講師

田村 恵美先生

NPO法人全国ラジオ体操連盟指導委員

現在、ラジオ体操の指導・普及
推進に全国各地を回っていま
す。皆さんとお会いできるのを
楽しみにしております。



アシスタント

吉江 晴菜先生

NHKテレビ・ラジオ体操アシスタント

いつでも、どこでも、だれで
もできるラジオ体操で一緒
にココロと体をリフレッシュ
させましょう!

申し込み 9月1日(月)から

電話、市公式LINEの『各種予約』
または裏面申込書によりFAXで
お申し込みください。



新見市公式LINE

※体操がしやすい服装でお越しください。
※飲み物、タオルをご持参ください。

参加記念品

※4点セットで進呈

クリアファイル

フリーザーバッグ

ポケットティッシュ

オリジナルマフラータオル

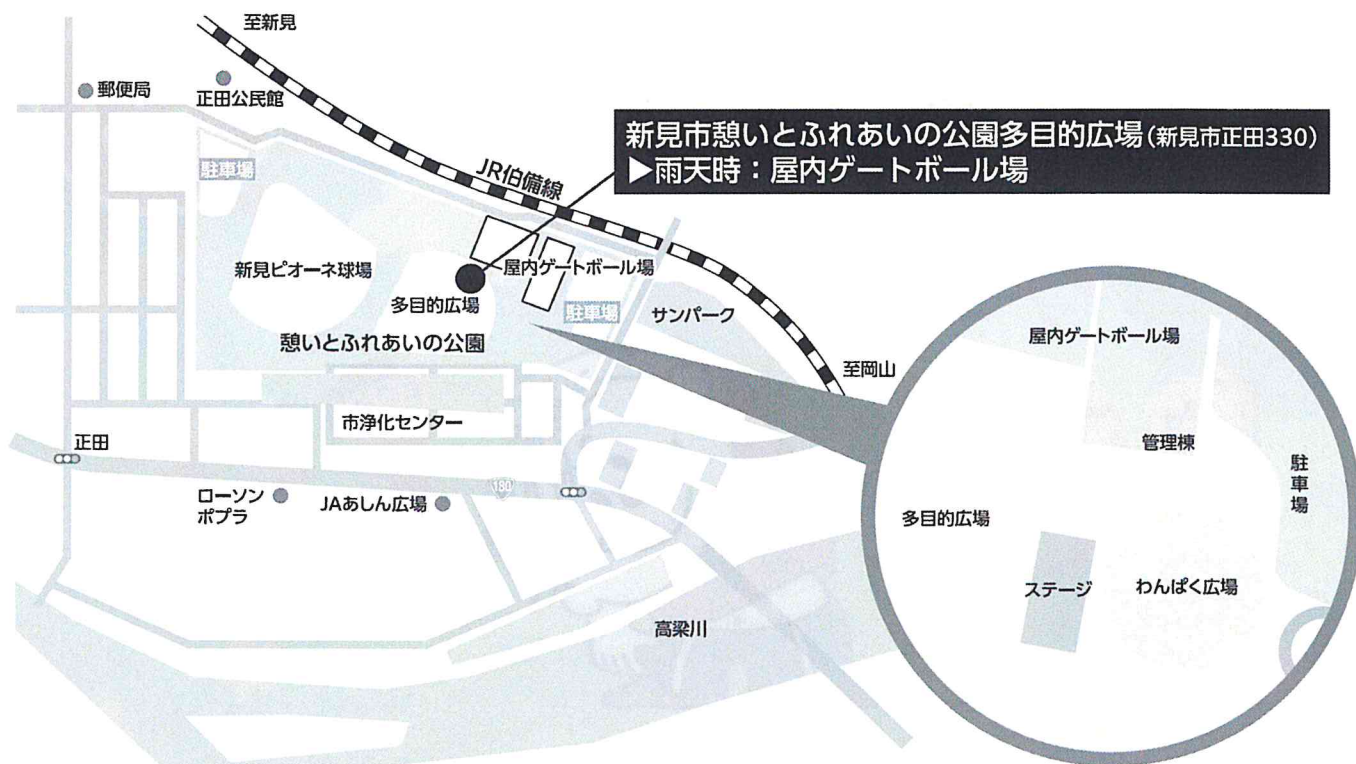
※この事業は、一般財団法人 簡易保険加入者協会 支援事業です。

主催：新見市 共催：新見ライオンズクラブ、新見市内郵便局

問い合わせ/申し込み先

新見市健康医療課 TEL.72-6129 FAX.72-6613

会場・駐車場案内



令和6年度講習会の様子

きらめき広場・哲西で行い、57名の方に参加いただきました。

講師は長年NHKテレビ・ラジオ体操に携わってこられた平井孝子先生（NPO 法人全国ラジオ体操連盟指導委員）、アシスタントは押味愛里沙先生（NPO 法人全国ラジオ体操連盟指導委員）に来ていただきました。

わかりやすく、そして楽しく解説していただき、参加者にとっても好評でした。



ラジオ体操講習会 申込書

お名前	住 所	電話番号

問い合わせ/申し込み先

新見市健康医療課 TEL:72-6129 FAX:72-6613

ゲートキーパー養成講座

「あなたのそばにも、悩んでいる人がいる
～気づく・聴く・つなぐ～」



いのうえ しんいちろう
講師 井上 真一郎
(新見公立大学 健康科学部
看護学科 教授)

こころに寄り添うコミュニケーションを学び、
あなたの「気づき」で大切な命を守りましょう。

ゲートキーパーとは  ?

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を
聴いて必要な支援につなげ、見守る人の
ことです。

日時

令和7年 **10月28日(火)**

13:30～15:30 (受付 13:15～)

参加費
無料

場所

新見市役所南庁舎1階 会議室1C

対象

こころの健康づくりに関心のある方

※今までに新見市のゲートキーパー養成講座
を修了した方は対象外です。



定員

30名

申込み

電話または市公式LINEの『各種予約』から
お申し込みください▶

要予約・先着順



新見市公式LINE



>> 申込み期限 10月20日(月) <<

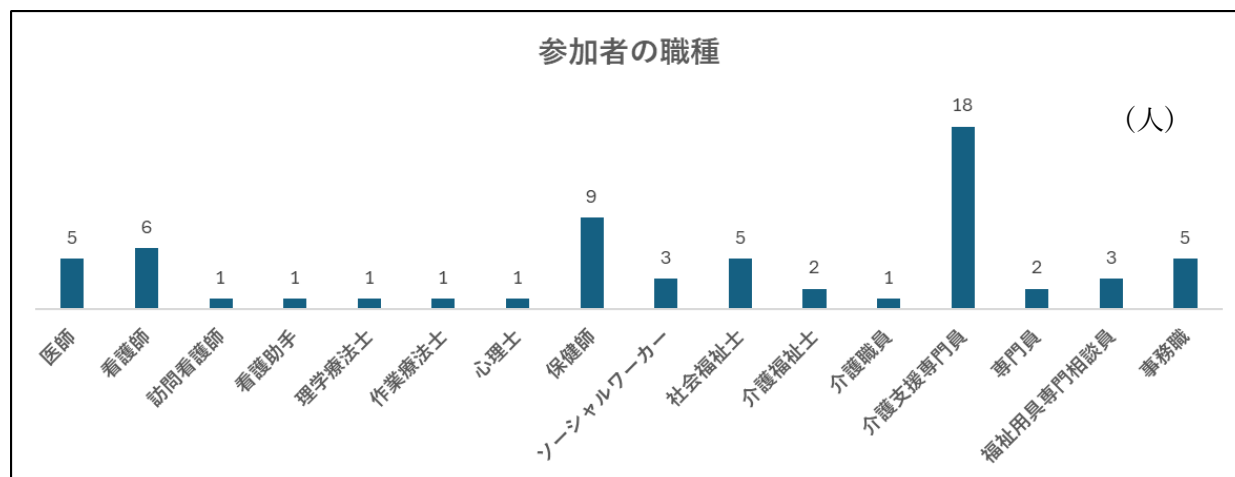
【お問い合わせ】

新見市健康医療課

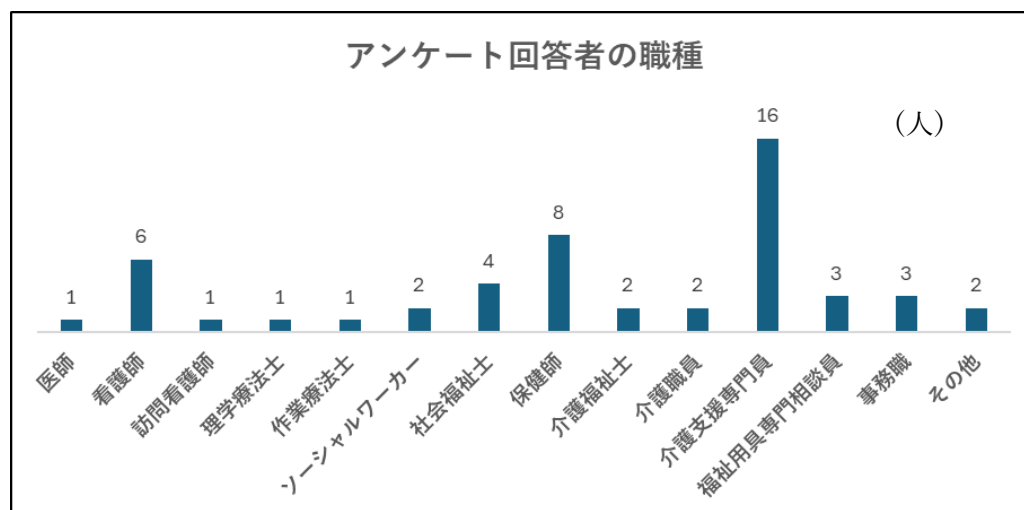
TEL. (0867) 72-6129

令和7年度認知症研修会(7.9.5) 研修後アンケート集計結果

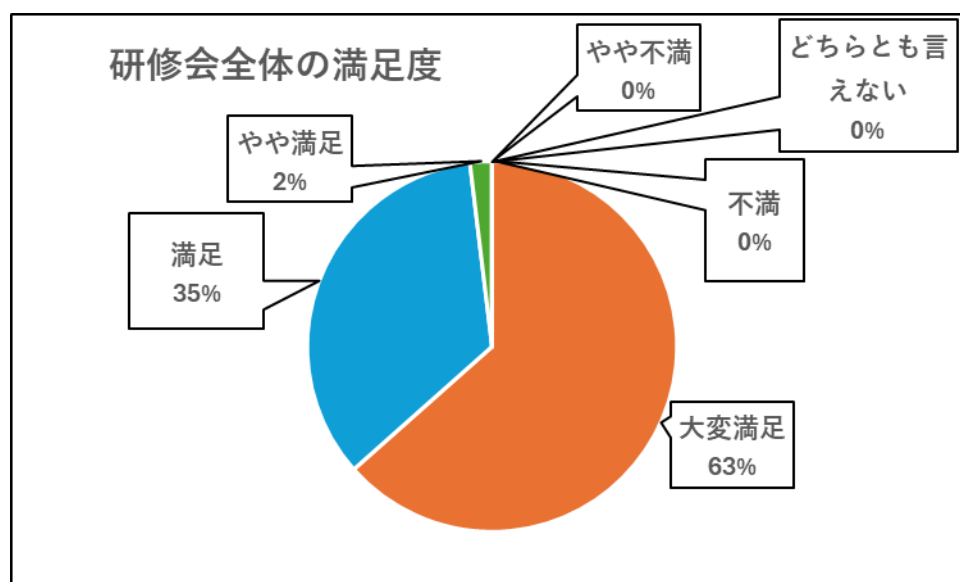
◆参加者の職種 参加者数 64 人



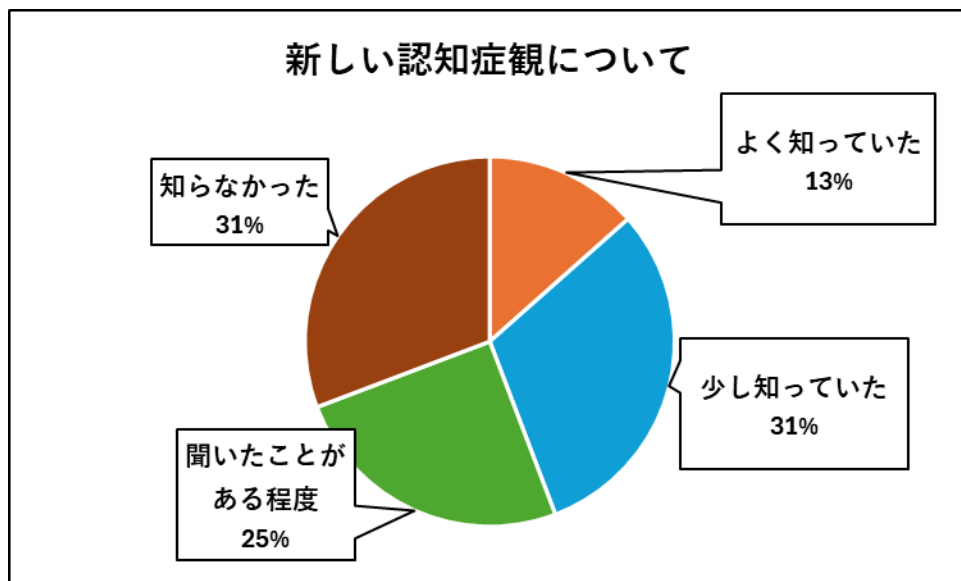
1 アンケートの回答者 回答者数 52 人



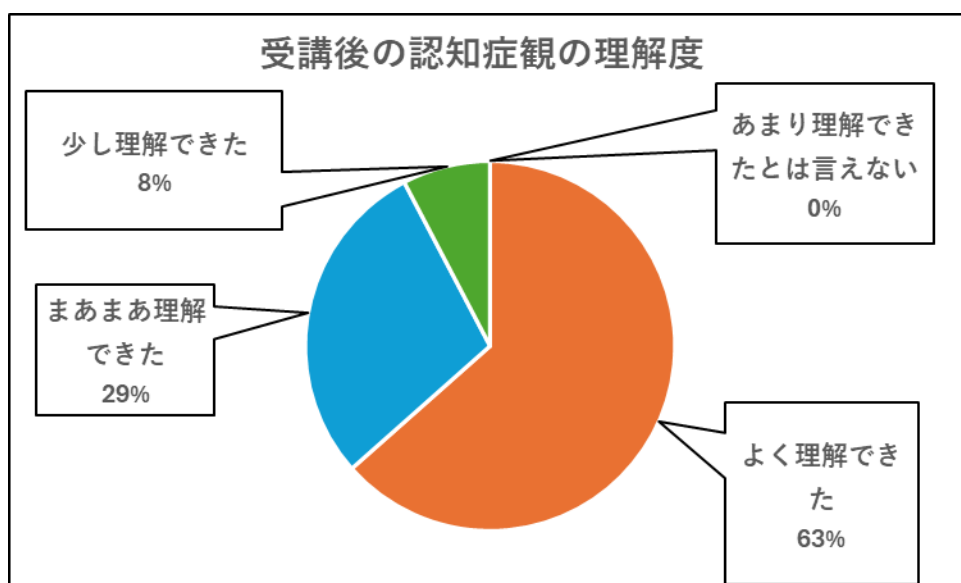
2 研修全体の満足度



3 研修に際して資料を読む前に「新しい認知症観」について知っていたか



4 受講後、「新しい認知症観」についてどのくらい理解できたか



5 研修会全体(講演、グループワーク)の感想

- ・人それぞれいろいろな考え方があるので、まず本人の話をじっくり聞くことが大事だと思いました。仕事では家族の話や意向を聞くことが主になっているので、工夫をしながら上手に本人の気持ちや今まで大事にしてきたもの等を聞き出せたら良いと思います。
- ・講師の藤田先生のお話に目からウロコがたくさんでした。ありがとうございました。
- ・「自分が認知症になったら」、みなさん「こうしたい」という思いを持っておられて驚きました。私は思い描けなかった。話を楽しく進めていただいて話がはずみました。
- ・夜の時間だと参加できないので日中の時間で開催していただき良かったです。グループワークでは他職種の方の意見が聞けて参考になりました。
- ・いざ自分事として考えると思いのほか浮かばず、頭が固いなと思いました。仕事柄支援するということに目が行きがちで、案外自分のことは考えにくいと思いました。(介護支援専門員)

・様々な専門職から話が聞けて良かった。支援側だけでなく自分がそうならと考えるということを GW でできてよかった。医療・福祉だけでなく、それだけでは無理で、地域の様々な場所とつながりながら新しい認知症支援ができればいいなと思う。

・自分事として考えてみるとやりたいこと、したい生活が人それぞれあった。多くの研修では当事者のために何ができるかを考えることが主であったため、今回の研修では多くの発見があった。自分はどうしたいかの視点を持って日々サポーターとして関わっていけるよう頑張っていきたいと思った。

・自分が認知症になったらどうするか？病院に行き診断、自分のことを知ってもら。何をしたいか周りに言っておく等話し合いましたが、いろいろな意見が出て面白かったです。

・ご本人、パートナーの方、それぞれの職種の方の話が聞けたのがよかった。地域や企業を巻き込んでの「新しい認知症観」を考えていけたら、より良い社会に近づけると思う。

・貴重な話が聞けてありがとうございます。認知症について「自分事」として考える。そして皆さんと意見を交わす機会ができて本当に良かったです。

・認知症になったら正直、何もできないと思っていましたが、GW の中でしっかりどうなりたいという意見を言われ、出来ることもあるのだなあと思います。できることをしていきたいと思いました。

・先生の実際の体験を交えたお話は分かりやすく、考えさせられることもあり、認知症に対するイメージが前向きに変わりました。GW では自分事として考えることでそれぞれいろいろな思いを抱いていること、GW のメンバーでも様々なので認知症の人も一人一人の思いがあるよなあと改めて思いました。一人一人の思いに向き合いながら、一緒にできることはないか、一緒に考えていくことを心掛けたいと思います。

・認知症ご本人の方から「新しい認知症観」を聴くことができ、認知症観を考えるきっかけになりました。GW では自分事として考えてみることで良かったです。

・「認知症=何もできない人ではない」を考えるきっかけになりました。自分らしく生きられる新見市であってほしい。

・様々な職種の方のいろいろな意見が聞けて楽しかったです。認知症になる年齢でも違いは出ると思いますが、どの年代でだろうが自分の得意なことを生かせる生活を過ごせたらいいなと考えました。現在の自分は無趣味ですが、好きになれること、推し、自分がキラキラ出来る場所を探していくこと自体を楽しんでいけたらいいなと思いました。

・今後について考えることができて良かった。

・色々な職種の人の立場からの意見が聞けて良かったです。

・認知症と良く聞くがあまり考えることはなかったが、認知症について少し理解できたと思います。自分が認知症になったらと思うと、不安はあるが周囲の理解が増えているので安心感があつた。

・参加して良かったです。新しい発見がたくさんありました。まず、自分事として考える。病気ではなく人を見る。そこからだなと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

・「自分が認知症になったら」と自分事として考えることが第一歩だなと思いました。人とのつながりを作っていくことも大切だなと思いました。

・自分が認知症になったらどうなるか？考えたこともなかったです。職業病か、「安全に安全に」と考えがちだったので、この方は、本当はどうしたいのか？と考えたことがなかったので恥ずかしいです。これからは自分事として考えたいと思います。

・認知症になって物事の判断が不十分になっても周りの支援や理解で明るく楽しく地域で暮らしていければいいと思います。

・「新しい認知症観」良い言葉だなと思いました。

・認知症になったらどうしたいか、改めて深く考えることができました。また、他の人の意見を聞いて、いろんな考えがあり、認知症になった時に自分の考えだけで固定するのではなく参考にさせていただきたいです。

認知症になっても新見市で生活できるよう、今回の意見を大きく取り上げて市に動いていただきたいと思います！

・職業柄困っていることに目を向け、対応することが基本と思っていました。研修会に参加し、自分になったらどうしたいか、どうして欲しいか考えることができました。新たな考え方ができるようになり、これからも考えていきたいと思いました。活躍する場を作ること、考える事をしていきたいと思います。

・楽しく話し合うことができました。自分がしたいことを伝えることで、認知症の人のかわりが具体的にわかりました。新しい認知症観が理解できました。

・今までは看護師として認知症について考えることはあっても、自分のこととして考えることはなかったので考え方が少し変わったように思います。

・楽しく話せました。

・認知症に対して正しい知識がされていない社会→偏見、人権。できないことばかりに目を向けず、その強みややりたいことを大切にしたい。

・自分事として考えることの大切さが分かりました。色々と考えるきっかけになりました。

・住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちづくりができるように周りをつながりながら変えていきたい。

・「自分事として」という視点で考えることで、自分たちがこの地域をどのようにしていきたいかをより現実的に考えることができたと思います。日々の支援の中でも「できること」に着目していけたらと思いました。

・認知症に自分になったら、周りの人になったらとあまり考えたことがなかったけど、みなさん本音は今まで通りの生活を続けたい、だけど続けられるのかという不安があるのは同じだと思いました。周りの理解やサポート体制が整い、暮らしやすい環境づくりが必要だと思いました。

・自分事として考えるということ、実際にグループワークを通して自分はどうしたいか考えることができ、今後の支援にもつながると思いました。

・自分事として考えることができた。認知症になっても自分らしく過ごしたいと思いました。自分ができることとしては、サポーター養成講座で少しでも今日学んだことを伝えたい。

・ご本人からのメッセージはとてもわが事として考えさせられました。できることを発信していくこと。知ってもらうことは大切だと思いました。もっと偏見をなくすため、イメージを変えていきたいと思います。

・「自分なら」を自分で考えるだけでなく、色々な人の色々な価値観や視点で意見を交わして、とても良い経験ができました。

・ざっくばらんに話ができて良かった。新しい認知症観の共有、自分が認知症になったらと自分事として考えることができた。

・ご本人の方の講演、パートナーの方の講演を聴いて、新しい認知症観を改めて考えることができました。GWを通していろいろな方の意見を聞いて自分もこうしたいなあと具体的に考えることができました。

・講演は認知症に対する理解が深まるものでした。GW ではいろいろな価値観を共有でき、より考えが深まりました。

・講師の先生方も一緒に参加していて、とてもいい話をうかがえ、考えるきっかけになりました。

・難波さんの司会のおかげでとても和やかな優しい空気が流れている会でした。GW も和やかで楽しく発言できました。

・皆さんと意見交換できてよかった。

・今回のテーマで話をする機会は普段ないので、色々な意見が共有できて有意義な時間となりました。

・自分のこととして考えていても、つい支援者としての目で発言する人がいたので、みんなで軌道修正しました。とても前向きな意見ばかりで、楽しかったです。

・ご本人の声(本人がどうしたいか)を聞くことの大切さ、自分のこととして考えることの大切さを再確認できました。

☆藤田和子先生へのメッセージ

- ・藤田先生のバイタリティ溢れるお話を聴き、仕事だけでなく自分の人生もっと一生懸命生きていかないとけないという気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・「新しい認知症観」を体現しておられる方だなー！とビックリしました。支援を考えるばかりでしたが、本人と話していくこと、色々な支援も認知症も同じだと感じました。ありがとうございました。
- ・素敵に歳を重ねられている努力があるのではないかと感じました。
- ・現在病院に勤務していて認知症の患者さんと接していて、どうしてもできないことばかりに目を向けてしまっていました。TV も何となくついていて、本人が見たいのは何か考えることができなかったと思います。藤田先生の生の声を聴いて、石鹸ひとつでも何が使いたいのかなど、細かいことでも本人の声を聴くことを大切にしたいと思います。
- ・毎日お化粧をするということに共感しました。講演を拝聴していると、「認知症が本当にあるんですか？」と疑念を抱いたくらい、驚きました。今に至るまで色々な経験を積み重ねられてこられたのだらうと感じています。
- ・一緒にカフェ行きたいですね。お話したいです！！またお会いできますように！！
- ・貴重なお話をありがとうございました。自分だったら…を考えることで自分の考え方や大事にしたいことを考えるきっかけになりました。
- ・仕事の忙しさを理由に認知症の方の意見を聞かず、こちらの都合で仕事をしていたなあと思いました。認知症になっても自分のしたいことはできる限りちゃんと言っていきたいと思いました。認知症になってもチャレンジできることはいっぱいあるなあと思いました。
- ・本日はありがとうございました。様々な不安や葛藤があった中で、今現在、朗らかに生活されているのが伝わって来て、こちら認知症の方に対する考え方を見つめなおそうと思いました。
- ・本日はありがとうございました。行動力が大変すごいと驚かされました。今後の活動にも期待しております。
- ・認知症になっても自分の役割をきちんと持って活動されていることに感銘を受けました。これからも頑張ってください。
- ・先生のお話を聴き、認知症に対するイメージが変わりました。認知症になってもできることはたくさんあります。認知症をオープンにすることや信頼できるパートナーを見つける事。お互いに支え合う、補い合うことの大切さを学びました。貴重なご講演をありがとうございました。
- ・今日はお忙しい中、新見市に来て講演していただきありがとうございました。
- ・先生みたいに過ごせる新見市であってほしい。自分を見直す機会となりました。ありがとうございました。
- ・実際にお顔を拝見し、とてもキレイな方でビックリしました。「誰に会う約束がなくても毎日お化粧」という日課を話されたときに、「毎日しないとやり方を忘れるの」と言われていましたが、今までと変わらない生活を送ること、認知症だからと色々なことを諦めない信念を感じました。ありがとうございました。
- ・色々な話が聞けてよかったです。
- ・認知症について考えるきっかけになりました。
- ・今できるちょっとしたことからチャレンジしていきたいと思います。明日から前向きに患者さんと関わろうと思いました。ありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。新見市をもっともっとあたたかい町にしていけるように、今できることを考えていきたいなと思います。
- ・ステキな講演、ありがとうございました。
- ・まさに希望大使にピッタリの方だと思いました。
- ・最初に不安を感じて受診されたことを聞きました。自分だったらどうなんだろうと考える時間だったと思います。早くに病院受診する勇気が大切なことを知りました。本当に自分ごとを考えることができました。あり

がありがとうございました。

・新たな考え方を勉強する機会になりました、ありがとうございます。今から、自分のサポーターを考えていこうと思います。

・認知症になってもだいじょうぶと希望が湧きました。

・とても貴重な機会をありがとうございました。お話を聞いて少しでも何か行動することが大切だと思いました。

・認知症に前向きなイメージを持つきっかけになりました。娘にも話を聞かせたいと思いました。

・遠方からありがとうございました。認知症になっても楽しく生きたい、できるんだと勇気づけられました。また、つつい支援者としての脳になっていることにもハッとしました。

・いつまでも美しいままで…♡

・今日は遠いところをありがとうございました。診断されて 18 年経過しているとは思えないようなお話しをされていて、自分らしく生活をする事の大切さと大きさをとても感じました。

・認知症であることを周りの人に伝え、発信していくことを続けていかれているのが素晴らしいと思います。とても考えさせられる研修になりました。

・グループワークに入っていただき、直接お話を聞いたこと、認知症になっても明るくいられるなど希望が持てました。

・自分事として考えることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・希望大使が新見でもたくさん出るようなあたたかい町にしたいです。自分のオープンハートを支えてくれる人を信じること、あきらめない気持ちを、藤田さんを思い出しながら大切に生きたいです。ありがとうございました♡

・前を向いて一歩踏み出す勇気をもらえるステキな話だと感じました。ありがとうございました。

・これからも認知症大使としてご活躍ください。新見で認知症本人大使ができると良いと思います。

・藤田先生がとても穏やかに話してくださって、毎日不安もあるだろうけど生活が充実されているのだろうなと感じました。私も認知症になったら好きなことをして穏やかに過ごしたいです。

・「認知症になったらどうしよう…」とビクビクしながら生きるのはもったいない！と思えました。新しいことへのチャレンジやワクワクすることをこれからも多くの人と共有していきたいと思います。

・遠いところをお越し頂きありがとうございました。元気をいただきました。これからもお元気で。ご活躍を楽しみにしています。

・藤田さんのお話は何時聞いても新しい気づきがあります。

・遠方から来ていただき本当にありがとうございました。今日の参加者に少しでも新しい認知症観が伝わるといいなと願っています。今日の講演とGWがそのきっかけになったと思います。新見でも活動が続けていけるよう頑張りたいと思いました。

・遠いところまで来ていただき、ありがとうございました。今後も鳥取市や全国でのご活躍を期待しています。希望の星です！

・ありがとうございました。